

活動報告

新年1月14日、会津坂下町初市の会場において、会津の川に泳ぐ魚いろいろ&トゲ
 チョの展示を行ないました。

このことは会の目的である水環境への理解と希少生物の認識を求めるものでした。
 当日は、大型水槽にコイ、フナ、オイカワやスナヤツメ、ウグイ、そしてトゲチョなどが
 元気に泳ぎました。

初市に来られた方々は一様に足を止められ、まだ魚はいるのか、ヨカッタ・ヨカッタ
 と昔の自分と川とのことを話される人や、トゲチョを育てるのにはどうしたらよいのだ
 と長く説明を求める人など大賑わいでした。尚、坂下町さんからは会場の設定やら飲食
 までと大変お世話になりました。ありがとうございました。

当日の様子



初市の出店に並ぶネットワーク



興味津津・トゲチョに熱い眼



◆2008. 2. 13 発行◆

第7号

発行「トゲチョ会津ネットワーク」事務局
 国土交通省阿賀川河川事務所工務課
 NPO法人会津阿賀川流域ネットワーク
 〒965-0830 会津若松市西年貢1丁目7番45号

本号4ページ

挨拶・あいさつ	1
水環境・頑張ってます。	2
講演会のお知らせ	3
活動の報告	4
あがかわ流域学講座～カギ裂き～	4

冬という厳しい感じを受けることもなく、立春も過ぎてしまいました。
 暖冬なのででしょうか。新年を迎えられた会員の皆様、ご健勝にてお過ごしのこと
 と思います。

さて、昨年本会では『阿賀川の水環境を考える』講演と学習発表会を主催しま
 した。会津若松市長菅家一郎様はじめ多くの方々にご参加いただきまして、誠に
 ありがとうございました。

講師の先生には健全な水環境の大切さを具体的にお話しいただきました。また、
 城西小学校、謹教小学校の皆さんによる体験発表は素晴らしい啓蒙になりました。
 「阿賀川・川の達人の会」の発表では、水に対する地域の子ども達の関心度など
 も理解できました。

さらに、喜多方市高郷町只見川のトゲチョ観察会ではボートを持ち込んで川の
 現状を観察しました。そして、坂下町青木地区の方々、田島川島地区の保全地
 を観察・交流されました。

今、会津地域の水環境が5、60年前のような健全な状態に回復し、川で水泳ぎ
 をする、子どもたちの歓声が各地で上がることを目標に、今後とも活動を続けて
 いきたいと思っております。本年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。

トゲチョ会津ネットワーク 会長 二瓶 庄栄



第8回 あがかわ流域学講座

カギ裂き



北風が寒い、なけなしの金で子どものアノラック
 を買った。

気に入ってそれを着ては雪空を飛びまわっていた。

ある日、カギ裂きをした。小さなホコロビから中綿がのぞいた。

親はいつか、そこを縫った。中綿は隠れたが×××と縫い目が残った。

すると子どもは、アノラックをあまり着たがらなくなった。

×××は方向性の表われ、もう買わないヨ、ガマンしろの意。

今、自然は保全だ、保護だと人は言う。

ありがたいことだが、そのことは×××のアノラックではないだろうなと考える。

人は自然に手を加える、そのことはより生態を乱すこと×××になりかねないか
 と考える。(坂下 諭)

トゲチョもちょっとだけごあいさつ

皆様と私も水環境という御縁でおつき合いをさせていただいております。

さて、申し上げるまでもなく、私もトゲウオ科の魚は生息地、個体数も年々減じて
 おり、その多くが貴重種ということで、厳しい環境の中にあっても、皆様方の暖かい
 お気持ちの中で生かさせていただいております。

皆様の活動なさる阿賀野川水系には日本でもまれな、トゲウオ科の3種が永く棲んで
 います。

阿賀野川水系早出川近くにイバラトミヨ・阿賀野川にイトヨ降海型・そして私、阿賀川
 流域にイトヨ陸封型です。

私から申しあげるのもナンデス、この水系はとても凄いです。

どうぞ、この凄いい水系を私同様大切に守って下さい。

終わりに、本年も皆様にとって良い年でありますことをお祈り申し上げます。

水環境・悪化する — 猪苗代湖 —

平成19年末にショッキングなニュースが流れました。

猪苗代湖の水質が悪化するというニュースでした。

猪苗代湖に接する流入河川の一部にはトゲチョの生息が確認されており、その点でも水質の悪化は懸念されます。

猪苗代湖の水は日橋川や戸の口用水を経て、会津の各地を巡ります。また、そこにはトゲチョが棲むのです。水は一地点一箇所に留まるものではありません。水の持つ凄さも怖さもそこにあります。

奇しくも前回の水環境の講演で、中村先生は湖水の水質の変化に注目されるようお話がありました。

水質の変化は、広域にその影響を与えます。湖水の水質に注目しましょう。また、湖水の浄化に協力をしましょう。



報告

事例紹介

頑張ってます。水質浄化

会員 阿賀川非出資漁業協同組合

阿賀川漁協さんの漁業管理区域である、袋原河跡湖（旧阿賀川）通称・川前は、かつてヘラ鮒釣りのメッカとして、多くの釣り人で賑わったところですが、近年は水質の悪化が懸念される状況になっています。漁協さんは昔の水環境に戻れないかと努力されています。このことは昨年TVでの報道にもなりました。

かつてはきれいな水に生きる水草のマツモ、クロモ、アサザも咲いていたという、この水環境は今では富栄養化が進み、釣り人も少なくなりました。

そこで漁協さんは、炭素繊維で水質の浄化に実績をもたれている群馬高専教授の小島昭先生のご指導の下で水の浄化に取り組まれています。

でも直ちに水の浄化は進みません。でも頑張っておられます。

汚れるのは簡単です。でも、戻すのはとても大変です。

大変なご努力の川前を是非、訪ねてみて下さい。



かつては大勢の釣客で賑わった川前の釣場



組合員の方々による水質調査風景

2

会よりのお知らせ

講演・学習会をおこないます

来る 2月28日 午後1時より 北会津公民館において
川村勝美・樋幸四郎 両先生による講演会を催します。2月の末とはいえ、春にはまだ少し遠いので充分に気をつけてご参加下さい。

川村先生は元県・会津農林事務所にお勤めになりました。

そのときに、県・天然記念物指定地 イトヨ生息地 白山沼の改修工事を直接に携わられました。その時の御経験を話されます。

希少生物保全の先駆的事例です。希少生物と向き合う当会にとって多くの事が学べるチャンスです。期待しましょう。



天然記念物指定地 白山沼

樋先生は永く県立会津短期大学で水環境（水質）と生きものの関係に携わられた先生です。今回のお話しは数多くの研究発表の内のひとつ、汚れた水が生物に与える影響についてです。

汚れた水は生きものにどんな形の影響を与えているのでしょうか。身近な実例を通しての、ズバリのお話しです。ご期待下さい。

記

会津の水環境保全の集い

主催 トゲチョ会津ネットワーク

日時 平成20年2月28日（木）午後1時～

場所 会津若松市北会津公民館

1. 講演会

1) 演題「検討中」

講師 樋 幸四郎氏 福島県立会津大学短期大学部名誉教授

2) 演題「北会津イトヨ池再生考」

講師 川村 勝美氏 元：福島県職員 現：庄建技術株式会社会津営業所長

2. 学習会

講師を囲んでの意見交換会（座長：坂下 諭）

1) イトヨ生息地再生について

2) イトヨの生息地